

二輪車安全運転全国大会2020 競技マニユアル



も く じ

競技のねらい	2
競技コース図	3
競技方法	4
採点基準共通事項・法規履行走行の採点基準	6
技能走行の採点基準	7
技能走行コースの課題と採点基準	
1 極小バランス	8
2 応用千鳥	9
3 コーススラローム	10
4 ブレーキング	11
5 コンビストラ	12

※本マニュアルの青字部分は、昨年と変化した点です。

■ 競技のねらい

安全で適正な運転が実践でき、かつ、他の模範となるライダーの育成を目的に、安全運転技能を「法規履行走行」および「技能走行」の競技形式で総合的に審査を行う。ひいてはグッドライダーの育成に寄与するものである。

1 法規履行走行 ～ルールやマナーが実践できるライダーの育成～

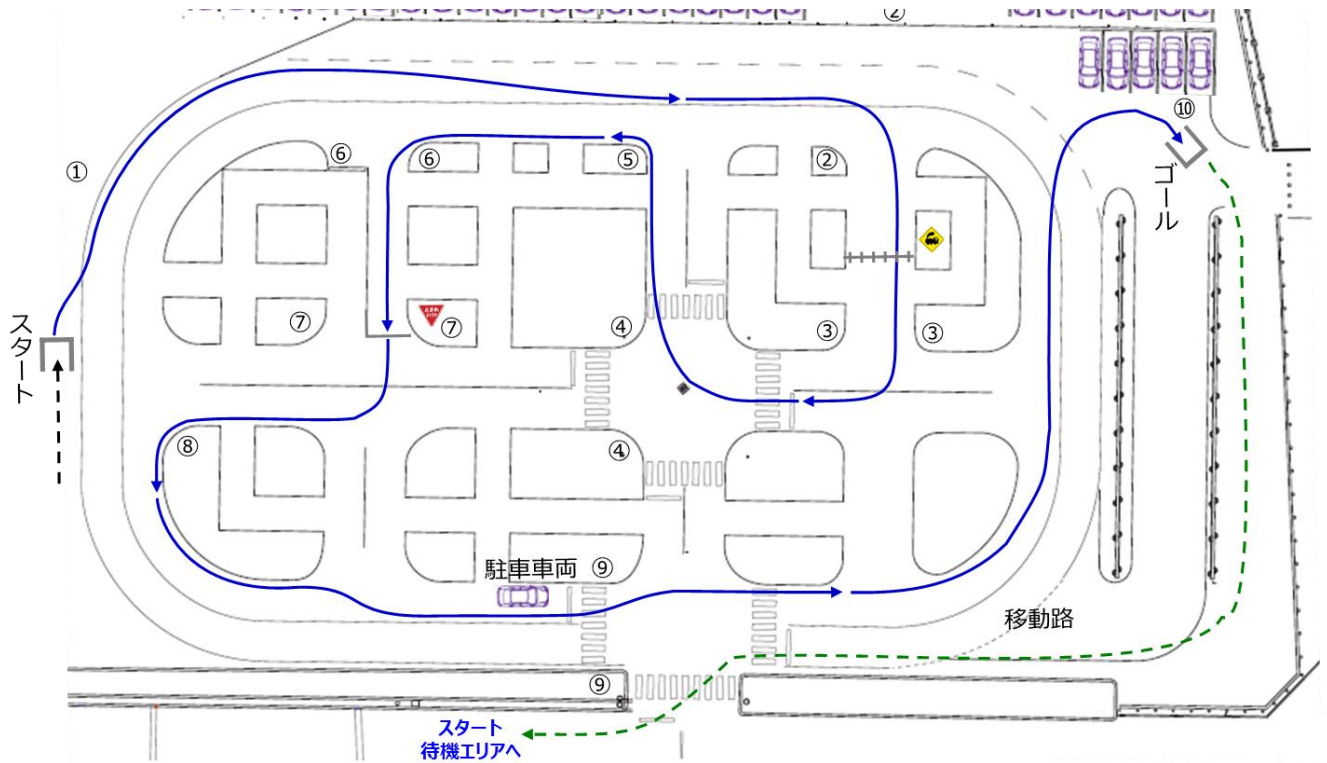
交通ルールやマナーを単に知識として知るだけでなく、実際の道路交通の場において交通法規に従った運転を確実に実践できることが大切である。ここではその能力を身に付けるライダーの育成を目的とする。

2 技能走行 ～安全運転の模範となる運転技能を備えた ライダーの育成～

二輪車を安全かつ自在に操縦するには、「走る」「曲がる」「止まる」の各技能を高め、その高めた技能を余裕ある運転に繋げることが大切である。ここでは事故や転倒の防止を図るとともに、周囲の交通に配慮できるライダーの育成を目的とする。

■ 競技コース図

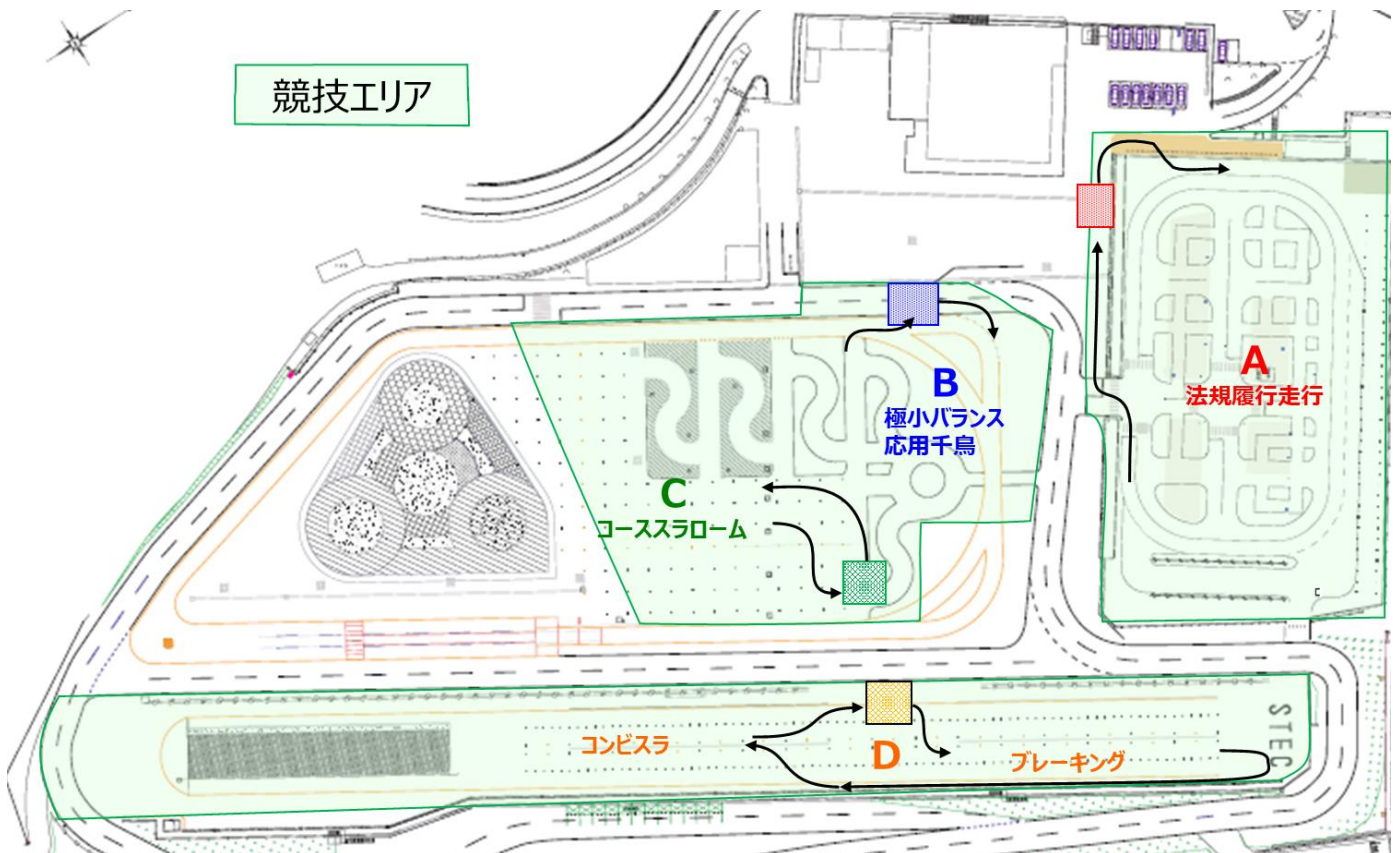
○ 法規履行走行コース図



※右左折後、距離の無い ②～⑧間は直接センターに寄せ、進路変更は不要です。

※②～③間は、交互通行道路です。

○ 技能走行コース図



■ 競技方法

1. 競技内容

(1) 法規履行走行

法規履行コースで、法規の履行状況を採点する。

(2) 技能走行

○技能コースに設けた5課題について採点する。

○1課題、1トライ制とする。

※選手の過失による走行不能（車両故障、傷病）、指示違反及び課題不履行があった場合には、当該課題は失格とする。

※天候等の状況により競技内容を変更することがある。

2. 競技の進行

法規履行走行及び、技能走行の5課題をA~Dの4ブロックに分けて実施することとし、各課題の実施順序は次表記載順とする。

ブロック	課題及び実施順序
Aブロック	法規履行走行
Bブロック	極小バランス ⇒ 応用千鳥
Cブロック	コーススラローム
Dブロック	ブレーキング ⇒ コンビストラ

3 配 点

法規履行走行持ち点 500点（最大減点500点）

技能走行持ち点 500点（1課題100点×5課題）

合 計 1000点

4. 成績順位

各選手の持ち点1,000点から、採点基準により減点し、総点数の多い者を上位とする。

5. 各ブロックのスタート、ゴール時の留意点

(1) スタートの準備

各競技を開始するにあたり、競技を円滑に進行するため、規律と節度ある行動を心掛け、服装など装備の確認、車両の点検などを確実に行うこと。

(2) スタートの手順

- 配車場所で競技車両を受領する。
- 車両の点検を行う。
- ゼッケン番号順に整列する。
- 審判員の指示に従い順次スタートする。

(3) ゴールの手順

停止位置において正しく停止する。その後、審判員の指示に従い移動する。

(4) 発進/再発進時の安全確認チェック方法

- ① 審判員が「スタート位置について」と指示、準備状況確認後「ヨーイ・スタート」とスタート旗を振り下ろす。
- ② スタート審判員がミラーの死角の位置に移動。
- ③ 選手と目線が合ったら白旗を上げる。
 - ※ 白旗が上がる前に発進した場合は安全不確認とする。
 - ※ 再発進時も同様の手順で安全確認チェックを実施。ブレーキングは停止位置が異なるが、同様に審判員が後方に移動し安全確認チェックを行う。

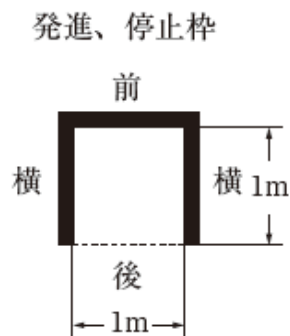
6. その他

車両不具合があった場合は速やかに審判員に報告すること。

また転倒があった場合、車両返却時に審判員または配車係員に転倒した旨を必ず報告の上、返却すること。

■ 採点基準共通事項

- (1) **転倒（立ち転げ含む）**：発進枠に入り停止枠を出るまでに転倒があった場合、当該競技を最大減点とする。
- (2) **指示違反**：安全運転大会の選手として相応しくないと2名以上の審判員が認めた場合並びに、審判員の指示に従わない場合、ブレーキングにおいては、P11 <その他> ①の行為があった場合、当該競技を最大減点とする。
- (3) **発進枠側線踏み**：発進時に発進枠の側線を踏んだ（前輪又は後輪の接地面）場合、減点50とする。
- (4) **停止枠外停止**：前輪の先端が停止枠を越えた、車輪の接地面が側線を踏んだ、前輪の先端が停止枠に入っていない場合、減点50とする。



■ 法規履行走行の採点基準

法規履行走行が行われるコースで、法規履行の能力、とりわけ一時停止、進路変更、合図、右左折等を採点する。

<採点基準>

(最大減点500点)

減点500	減点100	減点50	減点30	減点15
転倒 指示違反	脱輪 一時不停止 踏切不停止 右側通行 信号無視 進行妨害 歩行者保護(不停止)	安全不確認 交差点変更不適 優先判断不適 徐行不履行 側方間隔不適 右足ささえ コース誤り 発進枠側線踏み 停止枠外停止	合図しない 右左折方法不適 アクセルむら 急ハンドル ふらつき(バランス) 駐停車方法不適	合図(戻し・不適) 安全装置(ミッド) 乗車姿勢不適 エンジンスト 発進手間取り 速度維持不適 停止位置不適

(注)ここに定める採点基準は、競技会の主旨と運営に沿って作成したもので、運転免許技能試験とは異なる。

(注)スタート位置での停車はサイドスタンドとする。サイドスタンドの無い車両はセンタースタンドとする。

■技能走行の採点基準

	減点100	減点50	減点30	減点10	減点1
技能走行 共通	転倒 指示違反	安全不確認 発進枠側線踏み 停止枠外停止	発進手間取り 両足ばなれ 足つき(1回)	片足ばなれ 右足つき エンスト(1回)	
極小 バンス	コースアウト	足ささえ (1回につき)	パイロン接触 (1本)		基準タイム不足 (0.1秒毎に)
応用千鳥	コースアウト	足ささえ (1回につき)	車体接地(1回) パイロン接触 (1本)		
コース スラローム	コースアウト (両輪) コースミス	コースアウト (片輪1回)	運転姿勢 車体接地(1回) 車輪ロック(前輪) パイロン接触 (1本)		基準タイム超 (0.1秒毎に)
ブレーキング	コースアウト (コース幅オーバー) 指示速度不足 6.0km/h超	指示速度不足 3.0km/h超 ~6.0km/h以下 車輪ロック (2m以上)	運転姿勢 指示速度不足 3.0km/h以下	停止基準距離 オーバー: 0.5m ごとに ※エンストは 制動区間除く	
コンビストラ	コースアウト (両輪) コースミス	コースアウト (片輪1回)	運転姿勢 車体接地(1回) 車輪ロック(前輪) パイロン接触 (1本)		基準タイム超 (0.1秒毎に)

【技能走行共通項目】

- ・安全不確認 : 発進位置からの発進時及び、停止位置からの再発進時に右後方を目視で確認しない。(コース内は除く)
- ・発進手間取り : 審判のスタート指示に対して速やかに(3秒程度)スタートしない。
- ・両足ばなれ : 走行中両足がステップから離れた。
- ・足つき : 左右いずれかの足をついた回数をカウント。
- ・片足ばなれ : 走行中、左右いずれかの足がステップから離れた。
(ただし、停止位置から2m以内の左足ばなれは除く)
- ・右足つき : スタート時/ゴール時に右足又は両足着地した。
- ・エンスト : スタートからゴールまでの間にエンストした回数をカウント。
(ブレーキングの制動区間除く)

1 極小バランス

(最大減点100点)

<ねらい> 内輪差などを考慮し的確な車両誘導技術で走行できる、低速走行時の「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

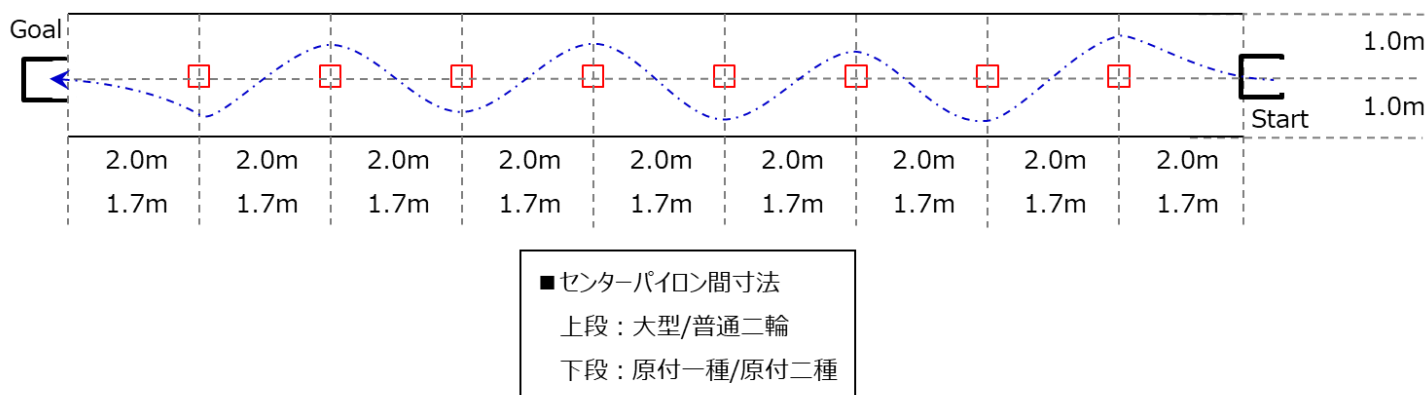
<走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、発進する。
 - ② 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン、マーカー、側線などに接触しないように、センターのパイロンを左右に縫って走行する。
 - ③ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。
- ※一本目のパイロンへの進入方向は、左右どちらでも可。

<その他>

- ① 基準タイム: 30秒以上 (1/100秒以下切り捨て)
※30.0秒以上で減点無し、30.0秒未満は0.1秒ごとに減点1
(例: 30.0秒=減点無し、29.9秒=減点1、25.5秒=減点45点)
- ② 車両が停止または、後退した状態での足つきは、「足ささえ」とする。
「足ささえ」を行っている時間は計測し、走行タイムから減算する。
- ③ 側線を踏んだり、本来通過すべきところを通らず走行した場合は「コースアウト」とする。

<コース図>



※センターのパイロン: 未来工業 TSカップリング (ストレートタイプ) PVF-36J (全長92mm、直径50mm) を使用。

※センターパイロン転がり防止: 因幡電機産業 エアコン配管副部材 ウォールキャップ穴ぶた WM-60-I を上記のTSカップリングの下にとり付けます。

<http://www.inaba-denko.com/ja/data/series/info/id/006-00009/>

2 応用千鳥

(最大減点100 点)

<ねらい> 随所にゲートが設けられ車体の傾斜角が制限された狭小コースを安全かつ的確に通過できる、「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

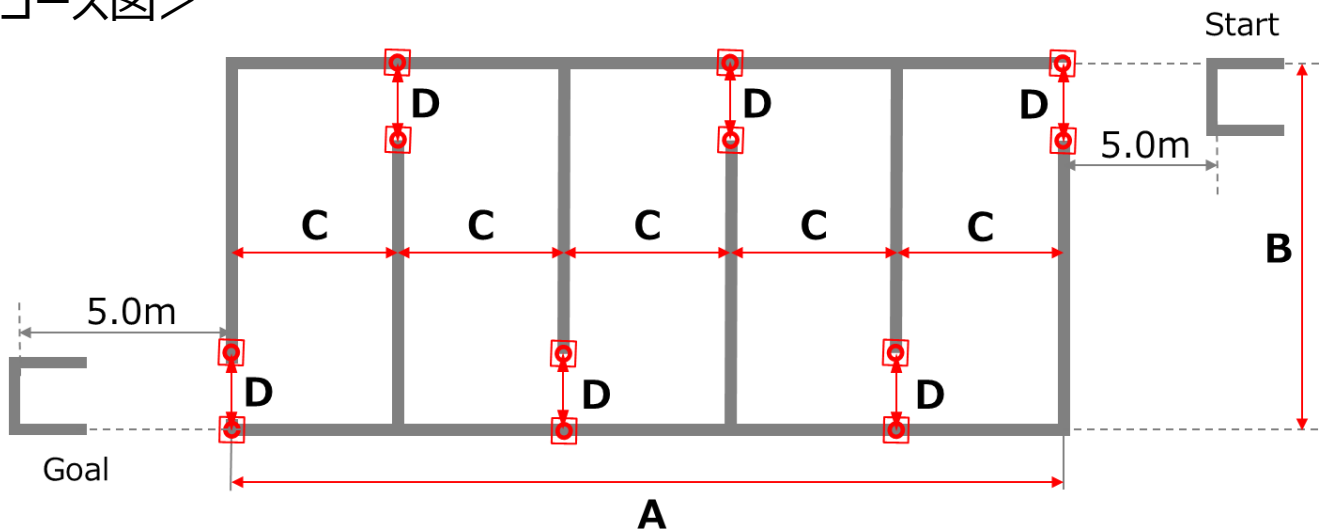
<走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、発進する。
- ② 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン、マーカーなどに接触しないように走行する。
- ③ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

<その他>

- ① 基準タイム：設定なし
- ② 車両が停止または、後退した状態での足つきは、「足ささえ」とする。
- ③ コース幅、ゲート幅は指定寸法内で変化する。

<コース図>



■ 大型／普通二輪	■ 原付一種／原付二種
A: 15.0m	A: 10.0m
B: 10.0m	B: 7.0m
C: 3.0m	C: 2.0m
D: 1.1m (大型二輪)	D: 0.9m (原付一種)
1.0m (普通二輪)	1.2m (原付二種)

3 コーススラローム

(最大減点100点)

<ねらい> 左右に連続する大小のカーブを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる、「走る」「曲がる」「止まる」の総合的な運転技能向上をねらいに設けられた課題。

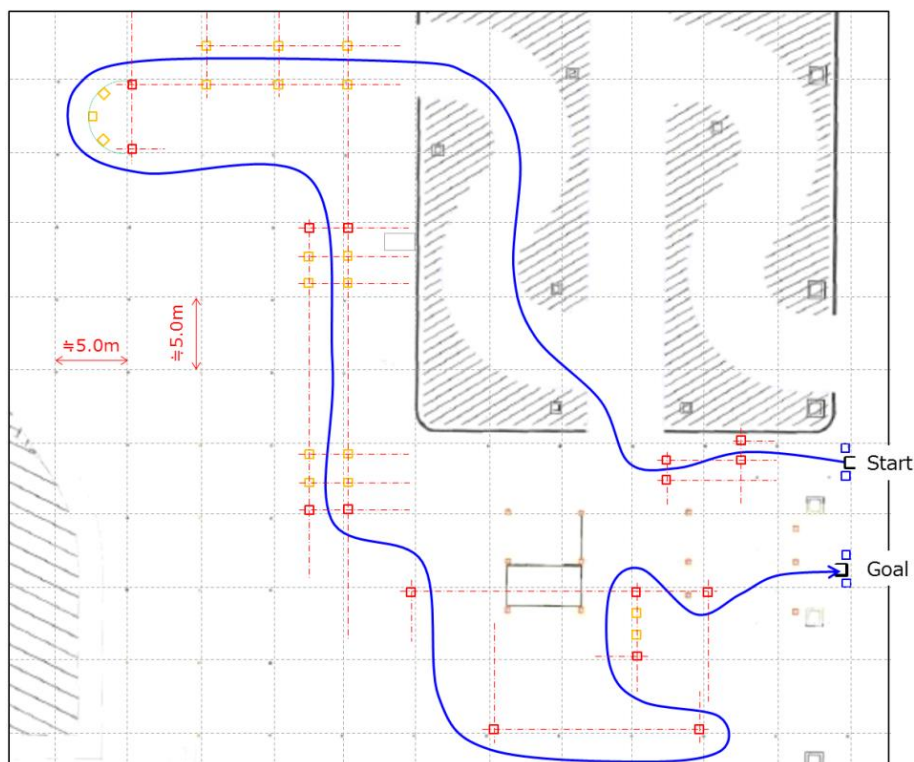
<走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、発進する。
- ② 指定コースを的確に判断し、アクセル、ブレーキ、クラッチ等を必要に応じてコントロールしながら走行する。
- ③ 進路は変化に富んでいるので、視線はできる限り前方に向け、常に先を読みながらハンドルを操作する。
- ④ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

<その他>

- ① 基準タイム：各クラス毎に減点がなく且つ最速のタイムを基準タイムとする。(1/100秒以下切り捨て)
- ② 設定したルートを通らなかった場合は「コースミス」とする。

<コース図(イメージ)>



4 ブレーキング（制動）

（最大減点100点）

<ねらい> 指定された速度・位置から制動を開始し、停止基準距離内で安定して停止することができる、「止まる」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

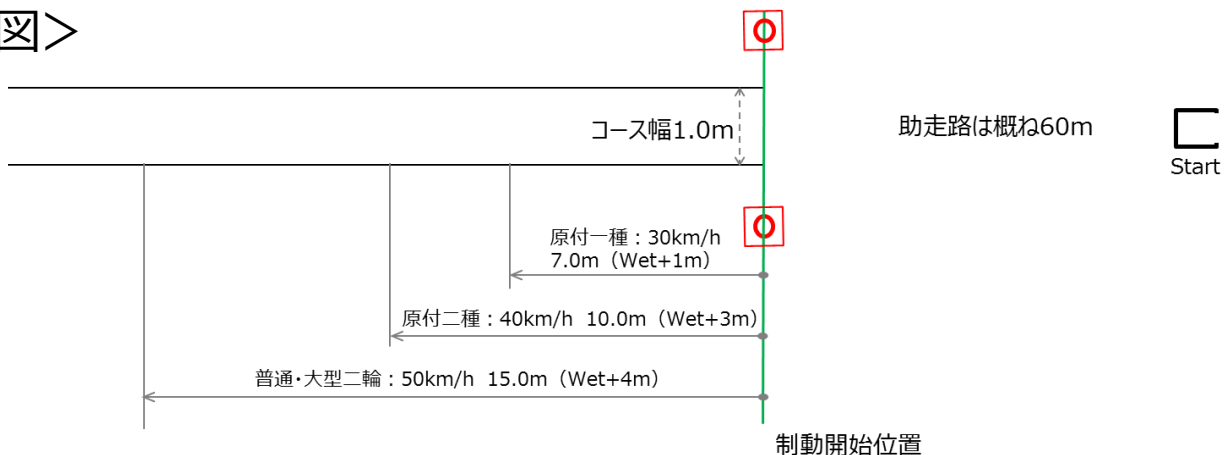
<走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② スタートギアは1速とする。
- ③ 助走路の前半で素早く変速加速し、後半で指示速度に合わせ車を安定させる。なお、ギアは3速以上とする。
- ④ 制動開始位置から制動を開始する。
- ⑤ 車輪をロックさせないで、停止基準距離内で停止する。
- ⑥ 車を完全に停止させ、左足で着地する。
- ⑦ 停止位置で審判員のチェックを受け、指示に従う。

<その他>

- ① ブレーキ開始が明らかに早い、助走路でレバーに指がかかっている、また、ギアが2速以下で進入した場合は指示違反とする。
- ② 距離の測定は前輪の先端で計測する。（0.5m単位で計測し切上げとする：例 10.1m⇒10.5m 9.8m⇒10.0m）
- ③ 車輪ロック2m以上は、後輪ロックのみが対象。

<コース図>



5 コンビストラ

(最大減点100点)

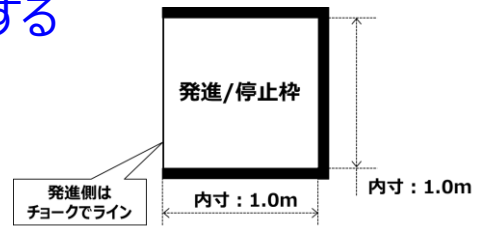
<ねらい> 連続する障害物のコースを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる、「曲がる」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

<走り方>

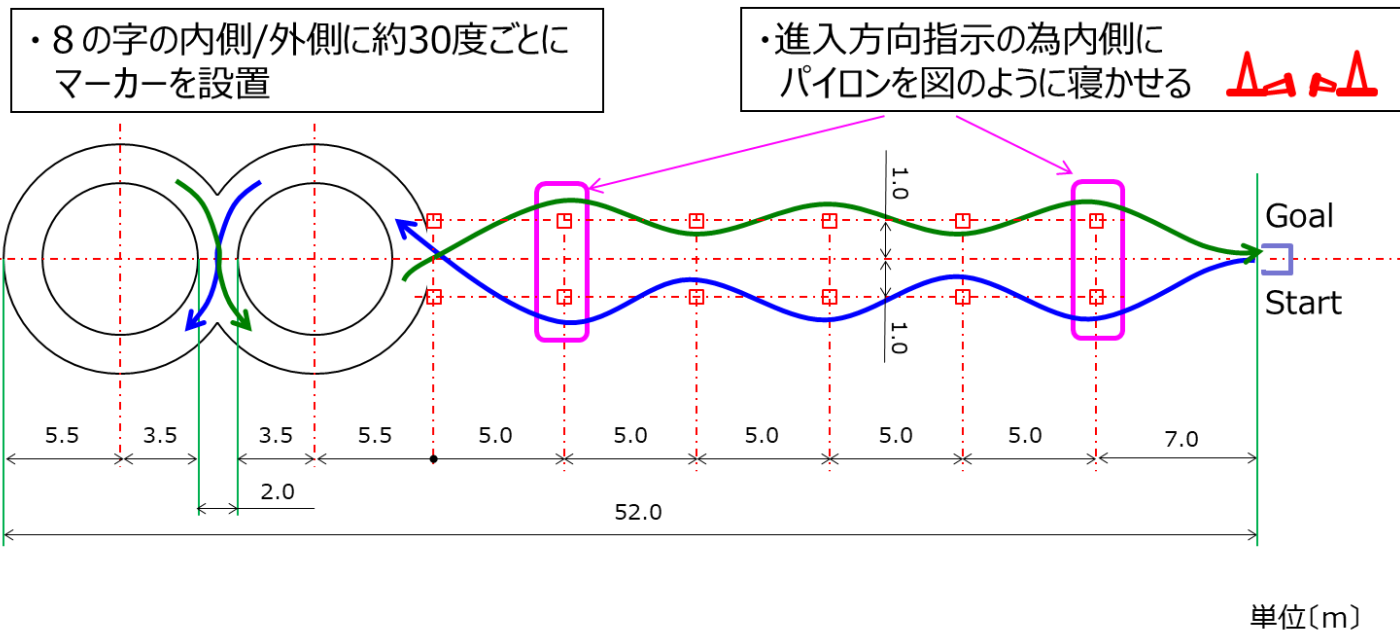
- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、審判員に指示された進入路より進む。
- ② パイロンを通過するときは、接触しない 最小限の傾斜でゆるやかな弧をえがき通過する。
- ③ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

<その他>

- ① 基準タイム：各クラス毎に減点がなく且つ最速のタイムを基準タイムとする。(1/100秒以下切り捨て)
- ② 設定したルートを通らなかった場合は「コースミス」とする。
- ③ コンビストラの発進/停止枠は右図の通りとする



<コース図>



メモ

二輪車安全運転全国大会2020 競技マニユアル



発行：2020年2月14日



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

※上記のキャラクターは、日本二輪車普及安全協会が運営するゲンチャレ(原付試験問題にチャレンジ)サイトに登場する「フタと燃料」の点検項目をイメージしたキャラクターです。
<http://www.jmps.or.jp/genchalle/training/>